

第34回  
日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会  
(JACUA)  
プログラム・抄録集

日時：2021年3月27日(土)  
WEB開催

参加費：¥5,000【医師】  
¥3,000【医師以外の方】

---

日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会

---

代表世話人 工藤 正俊  
第34回当番世話人 黒松 亮子

本会は超音波専門医、超音波検査士資格更新の対象研究会です。  
(発表者5単位・出席者5単位が取得できます。)

後援：日本超音波医学会

第 34 回  
日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会  
(JACUA)  
プログラム・抄録集

日 時：2021 年 3 月 27 日 (土)

WEB 開催

代表世話人 工藤 正俊

第 34 回当番世話人 黒松 亮子



## ご 挨拶

この度、令和3年3月27日（土）に、「第34回日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会」を開催させていただくこととなりました。本研究会の当番世話人を拝命し、大変光栄に存じております。

今回はコロナ禍に鑑み、Web開催とさせていただくこととなりました。

内容ですが、代表世話人である近畿大学医学部消化器内科の工藤正俊先生に「肝腫瘍の超音波診断のこれまでと今後：造影エコーの役割とAI診断開発の現状」のタイトルで特別講演をお願いしました。特別企画では、肝疾患、胆膵疾患における造影エコーのコツや有用性についての演題、一般演題では、肝に加え腹部周囲臓器の貴重な症例報告などの演題を発表いただきます。また、Webセミナーで、福岡大学医学部放射線医学教室の吉満研吾先生、北海道大学病院検査・輸血部/超音波センターの西田睦先生にお話いただくこととしています。企業展示はありませんがメーカーセッションを企画いたしました。

本研究会は、腹部超音波検査の中でも造影エコー・ドプラに特化した全国規模の研究会で、動画が重要なポイントとなります。Web開催となりましたが、事前の録画提出などは行わず、現地開催に近い、リアルタイムでの発表、討論ができればと考えております。

皆様には、ぜひ、九州の久留米におこしいただきたかったのですが残念です。しかし、一方で、WEB開催となったことで現地開催での参加が困難であった皆様にも参加いただけるかと思えます。ぜひ、多くの皆様の参加をお待ちしております。

謹白

2021年3月吉日

第34回日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会  
当番世話人 黒松亮子  
(久留米大学消化器内科・久留米大学病院超音波診断センター)

# 参加者へのご案内

## 1. 参加方法（事前参加登録）

開催日時：2021年3月27日（土）

開催方法：WEB開催

参加費：医師 5,000円 医師以外 3,000円

参加方法：事前参加登録にご登録頂き参加費を期日までにお振込みください。後日、事務局よりWEB開催の入室方法のご案内と参加費の領収書をご登録頂いたメール宛にお送りいたします。

下記のホームページより参加登録を行ってください。

<https://www.med.kindai.ac.jp/shoukaki/echo/index.html>

事前参加登録期間：3月25日（木）までに登録を行いお振込み完了してください。

◆会終了後に事務局で入室時間の確認を行います。確認後、入室した方に参加証明書をメールにてお送りいたします。入室の確認が出来ない場合は、参加費をお支払い頂いておりましたが参加証明書の発行は行いませんので、予めご了承ください。

## 2. 世話人会

日時：2021年3月27日（土） 8:30～9:30

開催方法：WEB開催

参加方法：世話人会へご出席の皆様は事前参加登録をおこない参加費の振込みをお願いいたします。

世話人会はZOOMミーティングを使用して開催いたします。事務局より世話人会会場への入室用URLをお送りいたします。入室用URLより入室し世話人会へ参加ください。

研究会へ参加の際は、入室URLが異なります。事前参加登録の確認が出来た方へ視聴用URLをお知らせいたします。世話人会終了後に研究会の視聴用URLで入り直してください。

## 3. 年会費について

年会費につきましては、日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会事務局へご確認ください。

## 4. WEB参加について

振込み確認後、事務局より視聴用URLをメールでお送りします。事務局より送られた視聴用ご案内メールは本番当日まで保存くださいますようお願いいたします。

視聴にはインターネット回線、PCもしくはタブレット、ZOOM会議システム（ウェビナー）を利用します。

視聴にはZOOMアプリケーションが必要です。

事前に<https://zoom.us/download>から「ミーティング用ZOOMクライアント」のダウンロードとインストールを行ってください。視聴環境に問題ないことを確認いただくため、事前視聴テストの確認をお願いいたします。なおこちらの視聴テストはパソコンのアプリケーションのみ対応しております。

事前視聴テストURL <https://zoom.us/test>

推奨環境確認サイトURL <https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>

インターネットにつながる通信環境がよい場所でご参加ください。（※有線LAN推奨）

またPCの負担軽減のため、ご自身のPC上で不要なアプリケーションは全て閉じてください。

質疑応答はカメラとマイク機能を使用します。カメラとマイク機能が使用できるかを上記の事前視聴テストで事前に確認してください。

## 5. 注意事項

視聴の際は以下の事項に同意の上、ご視聴ください。

- ・本講演の内容を無断で複写・複製・編集・録画・録音・転用（本講演のスクリーンショット・写真撮影・ダウンロード・他のサイトへのアップロードを含む）など著作権、肖像権の侵害、および不当な権利侵害を行わないこと
- ・ログイン情報を他者に知らせたり、共有したりすることのないよう管理すること
- ・不当な権利侵害を行うことにより生じた損害を賠償すること

## 6. 配信会場への入室方法

お振込み確認後、事務局より視聴ご案内メールを送信いたします。メールに記載の URL をクリック頂きますとウェビナー登録画面が表示されます。事前参加登録で入力頂きました 名、姓、メールアドレス、所属を入力ください。アプリをダウンロードし登録した際の名、姓、メールアドレスが表示される場合がございます。視聴管理を行いますので、正確に入力をお願いします。登録後に ZOOM ウェビナー視聴の URL が表示されますので、そちらの URL からご入室下さい。

ライブ配信会場への入室は、学会開始の 15 分前を予定しております。

入室開始前は「ホストが本ウェビナーを開始するまでお待ちください」と表示されます。開始までお待ちください。

※会終了後に事務局で入室時間の確認を行います。確認後、入室した方に参加証明書をメールにてお送りいたします。入室の確認が出来ない場合は、参加費をお支払い頂いておりましたが参加証明書の発行は行いませんので予めご了承ください。

## 7. 質疑応答について

ウェビナーの画面下に「手を挙げる」ボタンがございます。「手を挙げる」を押して頂くと事務局側で発言出来るように設定いたします。設定後、ウェビナーの画面下にカメラとマイクのボタンが表示されます。そちらをオンにして頂きご発言ください。時間により全ての質問に対応出来ない場合がございます。ご了承下さい。

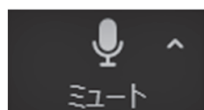


<質疑応答する場合>

手を挙げるをクリックする。  
事務局が発言できるように設定します。下記の画面になります。



マイクとカメラが表示します。



マイクオンの状態



マイクオフの状態



ビデオオンの状態



ビデオオフの状態

## 8. お問い合わせ先

### 【学会に関するお問い合わせ先】

第 34 回日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会 運営事務局  
〒 830-0011 福岡県久留米市旭町 67 (久留米大学消化器内科内)  
Tel ; 0942-31-7561 FAX ; 0942-34-2623 E-mail ; jacua34@med.kurume-u.ac.jp

### 【配信に関するお問い合わせ先】

株式会社九州舞台 コンベンション推進課内 (担当：日高)  
Tel ; 092-718-0330 E-mail ; jacua34@kyushustage.co.jp

# 座長・発表者へのご案内

## 1. 発表時間

- 主題演題 10分（発表7分、質疑3分）
- 一般演題 10分（発表7分、質疑3分）
- メーカーセッション 10分（発表8分、質疑2分）

## 2. 配信環境についてのお願い

発表はインターネット回線を使用しご自身のPCで発表ください。ZOOMアプリケーションが必要です。事前に<https://zoom.us/download>から「ミーティング用ZOOMクライアント」のダウンロードとインストールを行ってください。座長・演者は、パネリストとして入室頂きます。パネリストで入室頂きますと一般視聴者とは違い、カメラとマイクが使用できます。

後日、ZOOM管理者よりパネリストとしての招待メールが送られてきます。

招待メールに記載の「ここをクリックして参加」をクリックし入室頂きます。事前参加登録で送られてきた視聴用URLとは異なります。

メールの件名：「第34回日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会のパネリスト」

メール送信日：1週間前、前日、当日の1時間前

- ・インターネットにつながる通信環境がよい場所でご参加ください。※有線LAN推奨
- ・極力静かな場所で周囲の音が入らないようお願いいたします。
- ・お持ちのPCにカメラ、スピーカー、マイクが付属されているかご確認ください。
- ・可能な限り、マイク付きイヤホンやヘッドセットマイクをご使用ください。
- ・PCの負担軽減のため、ご自身のPC上で不要なアプリケーションは全て閉じてください。
- ・スマートフォンやタブレットでの発表はお控えください。

## 3. 発表方法

- ・口演発表はすべてPC発表（PowerPoint）のみといたします。
- ・発表はZOOMの画面共有機能を使用して発表スライドをご自身で共有させて発表を行ってください。
- ・発表前に使用しないアプリケーションはすべて閉じ、発表用のPowerPointデータを立ち上げておきます。座長の紹介がありましたら、カメラとマイクをオンにして、ご自身で画面共有をおこない発表スライドの操作を行ってください。
- ・PowerPointの発表者ツールを利用して発表されますと発表者ツールの画面がそのまま表示されますので使用はご遠慮ください。
- ・他の方の発表時はカメラとマイクはオフにしてください。

## 4. 座長の先生へ

セッション開始前にアナウンスが入ります。アナウンスが入りましたらセッションを開始してください。

マイク、カメラは、セッション中は出来る限り、オンのままで進行してください。

参加者からの質疑応答は「手を挙げる」を押して頂き事務局側で発言権の設定をおこないます。

発言される方に画面上でカメラ、マイクをオンにもらい質問を受けて下さい。質疑応答の時間は厳守でお願いします。



## 5. 質問がある場合

カメラとマイクをオンにして座長より指名がございましたら発言してください。  
終了後はカメラとマイクはオフをお願いします。

## 6. 当日の入室方法

座長・演者には、ZOOM ウェビナーのパネリストで参加いただきます。  
当日は出来る限り、9時20分までにパネリストとしての招待メールより下記の方法で参加ください。  
開始後にパネリストとして入室する際は、セッション途中の場合、発表の妨げになる場合がございます。  
入室いたしましたらすぐに画面左下側のカメラとマイクをオフをお願いいたします。



【入室の手順】

パネリストの場合

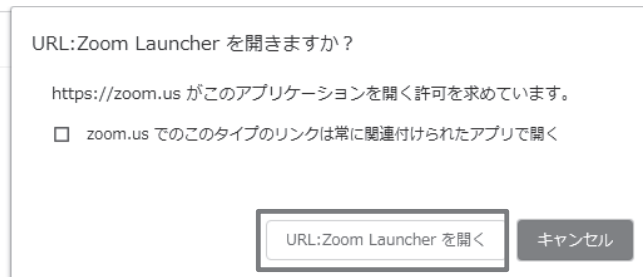


メールの件名：「第 34 回日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会のパネリスト」  
メール内に記載の「ここをクリックして参加」をクリックし入室する。



ZOOM のアプリがダウンロードされていたら

① 「URL:Zoom Launcher を開く」をクリックする



② 「ビデオ付きで参加」をクリックする

③ 「コンピューターでオーディオに参加」をクリックする



ZOOM 画面に切り替わります。

氏名はフルネーム（漢字）で設定してください。  
設定方法は事前にお送りいたしますマニュアルをご確認の上、ご参加ください。

## 7. 配信に関するお問い合わせ先

配信に関するご質問や当日のトラブルの際は、下記にご連絡お願いいたします。  
Tel；092-718-0330（株式会社九州舞台 コンベンション推進課内 担当：日高）

# 日程表

第 34 回日本腹部造影エコー・ドブラ研究会 WEB 配信会場		世話人会 (WEB 開催)
8:00		
9:00		8:30 ~ 9:30 世話人会
9:35 ~	<b>開会式</b>	
9:40 ~ 10:30	<b>一般演題 1 肝細胞癌 (1 ~ 5)</b> 座長：麻生 和信 / 岡村 修祐	
10:30 ~ 11:00	<b>一般演題 2 胆膵 (6 ~ 8)</b> 座長：和久井 紀貴 / 岡部 純弘	
11:00		
11:10 ~ 12:00	<b>Web セミナー 1</b> 「CT による ECV map の臨床応用：肝線維化評価とその先へ」 座長：熊田 卓 演者：吉満 研吾 共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社	
12:00		
12:00 ~ 12:30	<b>メーカーセッション</b> 座長：小野 尚文 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 / 株式会社日立製作所ヘルスケア / GE ヘルスケア・ジャパン株式会社	
12:30 ~ 12:50	<b>世話人会報告・次期世話人挨拶</b>	
12:50 ~ 13:50	<b>特別講演</b> 「肝腫瘍の超音波診断のこれまでと今後： 造影エコーの役割と AI 診断開発の現状」 座長：黒松 亮子 演者：工藤 正俊	
13:00		
14:00		
13:55 ~ 14:35	<b>主題 1・2 (9 ~ 12)</b> 座長：小川 真広 / 北野 雅之	
14:35 ~ 15:15	<b>一般演題 3 肝臓 1 (13 ~ 16)</b> 座長：小川 力 / 田中 弘教	
15:00		
15:25 ~ 15:55	<b>Web セミナー 2</b> 「コンピュータ支援による造影超音波診断 ～時代は CAD から AI へ～」 座長：今井 康陽 演者：西田 睦 共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社	
16:00		
16:00 ~ 16:40	<b>一般演題 4 肝臓 2 (17 ~ 20)</b> 座長：沼田 和司 / 鈴木 康秋	
16:40 ~ 17:20	<b>一般演題 5 その他 (21 ~ 24)</b> 座長：畠 二郎 / 南 康範	
17:00		
	<b>閉会式</b>	
18:00		

# プログラム

9:35～

## 開会挨拶

第34回当番世話人

黒松 亮子

9:40～10:30

## 一般演題1 肝細胞癌

座長：麻生 和信（旭川医科大学 内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野）  
岡村 修祐（久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門）

1. 肝細胞癌に同時性重複し診断が困難であった肝類上皮血管内皮腫の1例  
久留米大学外科学講座 菅野 裕樹
2. 造影USでの早期の治療効果が有効であったHCCに対するAtezolizumab + Bevacizumab療法の一例  
高松赤十字病院 初期研修医 福家 和諭
3. 確定診断に苦慮した細胆管細胞癌の1例  
旭川医科大学 病態代謝消化器血液腫瘍制御内科学分野 大竹 晋
4. 高音圧により画質改善の得られた新規マイクロコンベックスプローブによる造影超音波使用経験  
宝塚市立病院 消化器内科 田中 弘教
5. ラジオ波焼灼術後の焼灼高エコー域を壊死部とみなして良いか？  
近畿大学医学部 消化器内科 南 康範

10:30～11:00

## 一般演題2 胆膵

座長：和久井紀貴（東邦大学医療センター大森病院 消化器内科）  
岡部 純弘（加古川中央市民病院 消化器内科）

6. 自己免疫性膵炎に合併した硬化性胆管炎に対し造影超音波検査を施行した2例  
久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門 酒井 味和
7. 造影超音波で腫瘍血流を評価したAFP産生胆嚢癌の1例  
名寄市立総合病院 消化器内科 柳原 弘明
8. 転移性膵癌の1例  
兵庫医科大学 消化器内科、兵庫医科大学病院 超音波センター 西村 貴士

11:00～11:10

## 休憩

**11:10~12:00 Web セミナー 1**

座長：熊田 卓（岐阜協立大学 看護学部）

演者：吉満 研吾（福岡大学医学部 放射線医学教室）

**「CT による ECV map の臨床応用：肝線維化評価とその先へ」**

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

**12:00~12:30 メーカーセッション**

座長：小野 尚文（久留米大学消化器内科，公立八女総合病院）

キヤノンメディカルシステムズ株式会社／株式会社日立製作所ヘルスケア／  
GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

**12:30~12:50 世話人会報告**

**次期当番世話人挨拶** 小川 力（高松赤十字病院 消化器内科）

**12:50~13:50 特別講演**

座長：黒松 亮子（久留米大学病院超音波診断センター／消化器内科）

演者：工藤 正俊（近畿大学医学部消化器内科）

**「肝腫瘍の超音波診断のこれまでと今後：造影エコーの役割と AI 診断開発の現状」**

**13:50~13:55 休憩**

**13:55~14:35 主題 1・2**

**主題 1. 肝臓の造影エコーの新たな手法、工夫**

**主題 2. 胆膵疾患における造影エコーの有用性**

座長：小川 眞広（日本大学病院消化器内科／超音波室）  
北野 雅之（和歌山県立医科大学 第二内科）

**9. 造影超音波検査における高フレームレート化の手法と意義**

日本大学病院消化器内科 / 超音波室

小川 眞広

**10. 胆嚢病変に対する造影 B-flow を用いた血流診断**

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター

三輪 治生

**11. 造影 US を用いた膵腫瘍性病変の有用性**

日本大学病院 消化器内科

田村 祐

**12. 切除不能膵癌患者の化学療法継続・予後予測因子における造影ハーモニック超音波内視鏡下血流評価の有用性に関する検討**

和歌山県立医科大学 内科学第二講座

江守 智哉

## 14:35～15:15 一般演題3 肝臓1

座長：小川 力（高松赤十字病院）  
田中 弘教（宝塚市立病院 消化器内科）

### 13. 診断に苦慮した hepatic sclerosed hemangioma の一例

横浜市立大学附属市民総合医療センター・消化器病センター、  
済生会横浜市南部病院・臨床検査科

二本松宏美

### 14. High-flow hemangioma は Cavernous hemangioma の亜型？ － Sonazoid 造影エコー法による評価－

久留米大学消化器内科、公立八女総合病院

小野 尚文

### 15. 造影 CT では指摘されず、造影超音波が有用であった十二指腸癌びまん浸潤型肝転移の1例

名寄市立総合病院 消化器内科

鈴木 康秋

### 16. 神経内分泌腫瘍の肝転移巣における造影超音波所見の検討

久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門

蒲池 直紀

## 15:15～15:25 休憩

## 15:25～15:55 Web セミナー 2

座長：今井 康陽（市立池田病院 消化器内科）

演者：西田 睦（北海道大学病院 超音波センター / 検査・輸血部）

「コンピュータ支援による造影超音波診断 ～時代は CAD から AI へ～」

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

## 15:55～16:00 休憩

## 16:00～16:40 一般演題4 肝臓2

座長：沼田 和司（横浜市立大学附属市民総合医療センター・消化器病センター）  
鈴木 康秋（名寄市立総合病院 消化器内科）

### 17. Detective Flow Imaging で結節内部の血流を評価し得た限局性結節性過形成の2例

和歌山県立医科大学 内科学第2講座

兼久 亮

### 18. 造影超音波検査が診断の契機になった肝 Reactive lymphoid hyperplasia の3例

姫路赤十字病院 検査技術部

箕田 直樹

### 19. 各画像診断で診断に苦慮した肝内胆管腺腫の1例

大垣市民病院 医療技術部 診療検査科

片岡 咲

### 20. 興味深い経過をとった肝嚢胞の一例

天陽会中央病院 内科

伊集院裕康

**16:40~17:20 一般演題 5 その他**

座長：畠 二郎（川崎医科大学附属病院 検査診断学）  
南 康範（近畿大学医学部 消化器内科）

**21. 造影超音波による非閉塞性腸間膜虚血（NOMI）の診断**

川崎医科大学 検査診断学（内視鏡・超音波）

今村 祐志

**22. 造影超音波で評価した腹壁デスマイド腫瘍の1例**

名寄市立総合病院 臨床研修センター

佐野 海渡

**23. CT fusion 超音波と造影超音波で評価した子宮体癌術後 26 年目横隔膜転移再発の1例**

名寄市立総合病院 臨床検査科

泉谷 正和

**24. 糖尿病患者の腎葉間動静脈血流に影響を及ぼす因子の検討**

北海道大学病院 超音波センター

工藤 悠輔

**17:20~**

**閉会挨拶**

第 34 回当番世話人

黒松 亮子